

報道関係者 各位

春日市と福岡女学院大学との連携協定に基づく 2023年度の連携事業実績

春日市は、令和2年（2020年）10月30日に福岡女学院大学・福岡女学院短期大学部と包括連携協定を締結しました。

本連携に基づき、2023年度に実施した事業を報告します。

また、同大学・同大学短期大学部が発行した「2023年度_地域・国際交流センターNEWS」でも取り上げられましたので併せて報告します。

1 連携協定の主旨

本市と同大学が、幅広い分野における物的・知的・人的資源の交流と、機会の活用を図るため、相互に協力することを目的としています。

2 2023年度連携事業実績

事業名	担当所管
デジタルワークショップ	教育総務課
地域防災・医療・福祉人“財”育成プログラム	昇町保育所
若者の主権者意識の醸成と投票行動促進のための課題解決学習	総務課 (選挙管理委員会)
行政情報の多言語翻訳（市県民税申告書等）	税務課
介護事業所職業体験	高齢課
春日市表彰式でのハンドベル演奏	総務課
幼保小連携	昇町保育所、こども未来課、学校教育課
春日西中学校「星雲塾」	教育総務課

3 2023年度_地域・国際交流センターNEWS

同大学ウェブサイトからご覧いただけます。

https://www.fukujo.ac.jp/university/lifelong/regional_contribution/news

4 担当課

春日市経営企画部 経営企画課 企画担当 吉本

春日市原町3丁目1番地5

TEL 092-584-1111(代) FAX 092-584-1145

E-mail kikaku@city.kasuga.fukuoka.jp

【リリースに関する問い合わせ】

春日市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒816-8501 福岡県春日市原町3-1-5

電話 092-584-1111(代)

Fax 092-584-1145

E-mail koho@city.kasuga.fukuoka.jp

Web <https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/>

(4) 地域連携事業活動実績紹介

本学は包括連携協定を締結している機関を中心に、地域とつながり、様々な連携事業を実施しています。地域からの依頼は地域貢献事業から教員・関係部署・学生につなぎ、取り組みまでをコーディネートしています。2023年度の実績をご紹介します。

①地域の課題解決にむけた連携事業

■春日市

デジタルワークショップ

1/27

春日市との包括連携事業「デジタルワークショップ」を開催しました。同市在住の小学4年生を対象とし、レゴ®で作った車をプログラムで動かしました。講師は人間関係学部子ども発達学科 3年 石井ゼミの学生16名です。学生が学んでいる教育学の知見を活かし、子どもたちのプログラミング的思考を養うことを目的として学生が主体となって進めました。終了後には、春日市教育委員会(包括連携先)の皆さまから講評をいただきました。



■春日市

地域防災・医療・福祉人“財”育成プログラム

包括連携先である春日市(昇町保育所)と連携し、2023年度 地域連携教育プログラム「地域防災・医療・福祉人“財”育成」を開催しました。

「こどもと一緒に考えよう! 「もしも」に備える防災講座」のテーマのもと、幼児期に必要な防災教育の取り組みについて学びました。

人間関係学部子ども発達学科の森谷由美子講師とゼミの学生が昇町保育所の5歳児を対象に活動を行いました。

1/22 プレワーク

< 昇町保育所 >



紙芝居やカードゲーム「防災ダッグ」を使って、身体を動かして遊びながら防災や日常の危険から身を守ることを学びました。

子どもたちは絵を見てとっさにポーズをとったり、こんな時はどうしたらいいの?と質問したり、一生懸命に取り組んでいました。

2/29 第1回 防災講座

< 大学ミッションアリーナ >



グループでテントを組み立て、非常袋の中身の確認や、ホイッスルで助けを呼ぶ練習をしたり、少量の水とクッキーをどのように分け合うかを考えたりと、子どもたち自身で安全な空間づくりを体験しました。命の大切さや重みを感じる心と「自分の命は自分で守る」という意識を育て、行動を身につける体験型防災プログラムとなりました。

3/2 第2回 防災講座

< エリザベス・リーホール >



第1回のプログラムで取り組んだことを振り返りながら、昇町保育所の実践報告をもとに、幼児期の防災教育の重要性と、実際に保育所や家庭、地域でできる子どもたちの目線に立った取り組みについて、ワールドカフェ方式で意見交換をしながら理解を深めました。